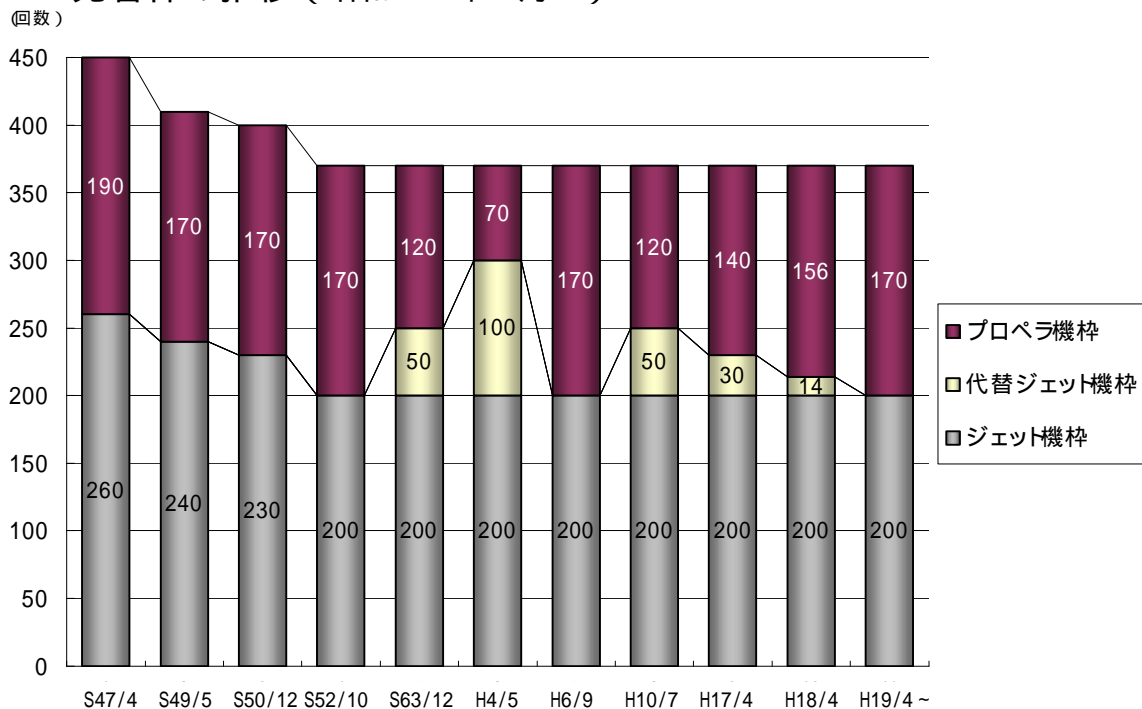


大阪空港の航空機発着枠

発着枠の推移（昭和47年4月～）



年/月	発着枠、合意内容等
S52/10	エアバスの乗り入れ等に伴う減便実施
S63/10	YS代替枠創設（関空開港まで）について地元と合意
H4/5	YS代替枠50回追加設定
H6/9	国際線の廃止に伴うYS代替措置の解消
H10/3	YS代替枠創設について地元と合意
H14/1	CRJをプロペラ枠で取り扱うことについて地元と合意
H17/4～	YS代替枠を段階的に削減（～H19/4）

発着時間規制等

年/月	発着時間等
S40/1 1	午後11時から午前6時までのジェット機の発着原則禁止
S46/8	1時間枠36回、3時間枠93回
S47/4	午後10時から午前7時までの間、郵便機を除き、緊急その他やむを得ない場合を除き、航空機の発着を禁止
S50/1 2	国内線ダイヤを午後9時以前に繰り上げ設定
S51/7	国際線ダイヤを午後9時以前に繰り上げ設定
H6/9	国際便撤退、原則短距離便（1000km以下）のみ等
H12/2	関空との長・短距離の機能分担廃止
（時期未定）	午前7時から午後9時までの運用に短縮

【参考資料】『大阪国際空港の概況』大阪航空局大阪空港事務所 他

環境対策事業・大阪空港

【空整特会における環境対策事業費の推移 / 実績ベース】

(単位 : 百万円)

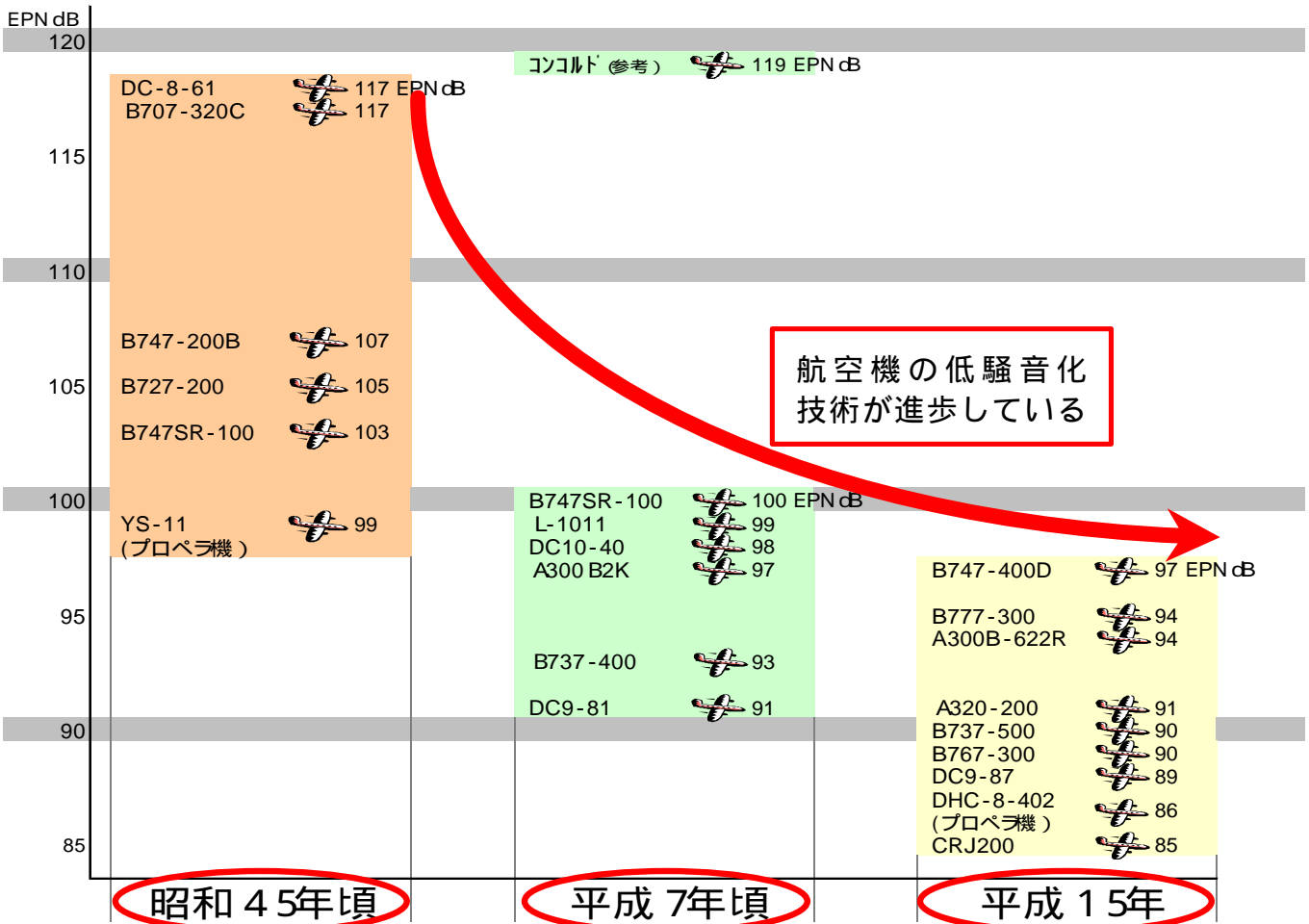
	S42-49	50	55	60	H2	H7	H14 (予)	H15 (予)	S42 ~ 累計
住宅騒音防止対策事業	412	4,934	42,058	14,269	1,060	10,818	2,007	1,052	308,534
緩衝緑地帯整備事業			149	27	2,685	4,185	4,575	4,311	82,967
移転補償事業費	8,759	7,663	9,909	4,699	6,232	371	400	263	142,617
教育施設等防音工事	14,596	4,436	5,348	2,936	484	787	448	252	82,408
空港周辺整備機構	2,674	359	400	0.2	31	115	293	303	7,485
周辺環境基盤施設整備			399	104	221	48	154	325	3,990
地方空港環境対策費									0
テレビ受信障害対策	205	207	517	719	718	714	760	760	18,641
生保世帯空調稼働費					5	6	9	9	90
国家公務員宿舎防音工事				882					2,621
小計	26,234	12,665	16,722	9,367	10,376	6,226	6,639	6,223	340,819
合計	26,646	17,599	58,780	23,636	11,436	17,044	8,646	7,275	649,353

注 : 平成 14・15年は予算額

環境対策事業費は、昭和 55 年度をピークに、近年、大幅に減少。
 内訳を見ると 昭和 50 年代、事業の中核は住宅騒音防止対策であったが、近年は
 緑地帯整備に重点が移っている。
 【参考】大阪空港における着陸料収入は、概算で年間約 140 億円。

【出典】国土交通省資料 (2002 年 10 月) 他

主要航空機の騒音値比較



機材 (座席数) <特徴>
DC-8-61 (231)
B707-320C (147)
B747SR-100(498)
YS-11 (64) <プロペラ機>
コンコルド (128)
L-1011(326)
DC10-40 (370)
A300 B2K(281)
B737-400(156)
DC9-81(163)
B747-400D(569) <4発大型機>
B777-300(525) <双発大型機>
A300B-622R(308)
A320-200(166)
B737-500(126)
B767-300(288) <双発中型機>
DC9-87(134)
DHC-8-402(78) <プロペラ機>
CRJ200 (60) <リ- ジョナルジェット機>

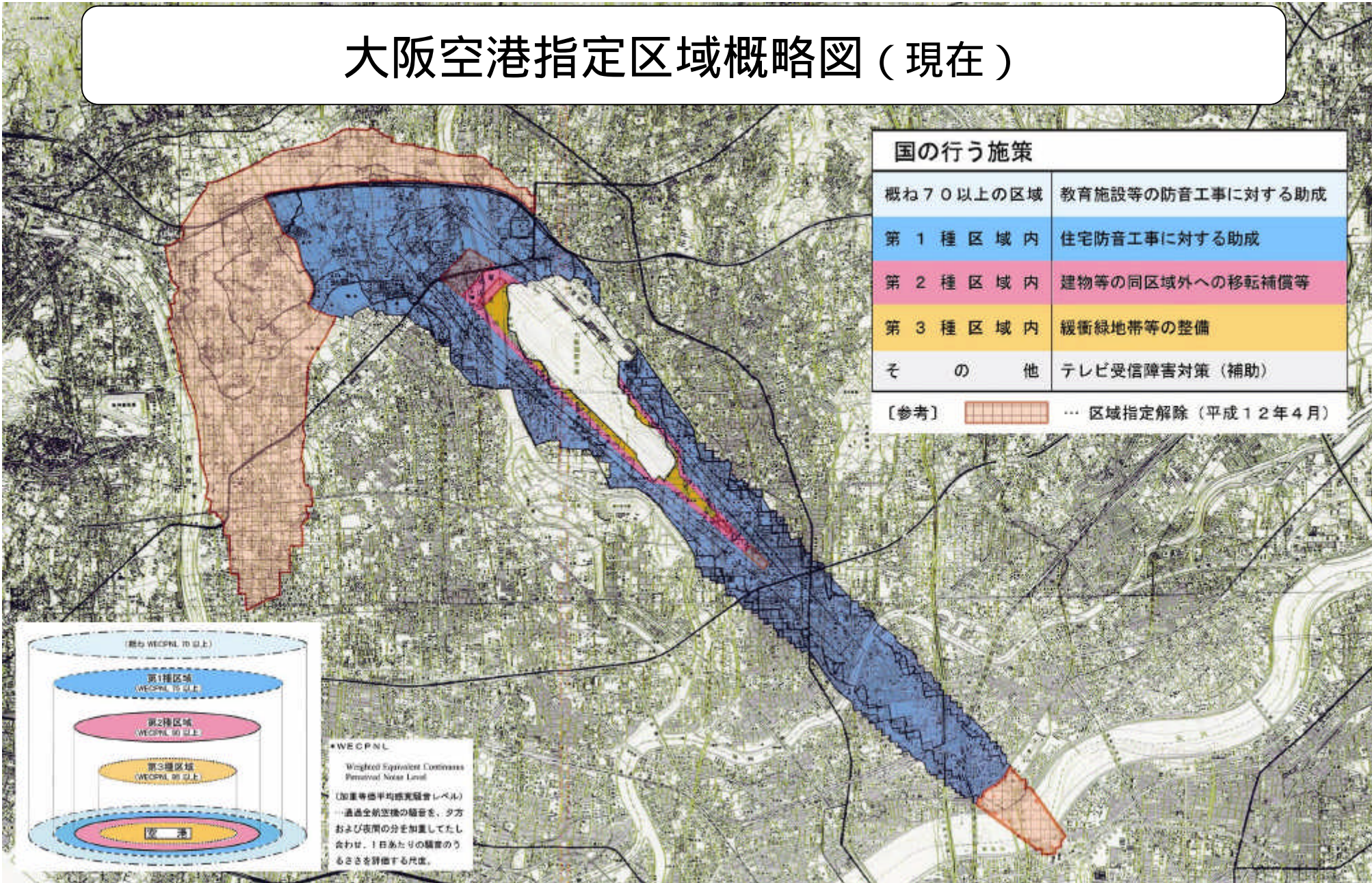
座席数は代表的な乗客用座席を示す

[参考]
騒音レベルと身近な音との比較

- 90dB...騒々しい工場・大声による独唱
- 80dB...電車の車内
- 70dB...騒々しい事務所・電話のベル
- 60dB...普通会話
- 50dB...静かな事務所
- 40dB...図書館・静かな住宅地の昼
- 30dB...ささやき声
- 20dB...木葉のふれあう音
- 0 dB...最小可聴限度

注：騒音値 = ICAO基準による離陸測定点(ブレーキ解除した点から6,500mの地点)と、着陸進入測定点(滑走路より手前2,000mの地点)の飛行コース直下の騒音値の加重平均。着陸料算定時の騒音値として用いられる。
 ・EPNL Effective Perceived Noise Level (実効感覚騒音レベル)...航空機騒音測定のために考案されたもので、航空機騒音の特異音や継続時間の違いによるうるささ評価するための尺度 印 騒音基準適合証明の数値に基づき空港活性協が試算した値
 ・dB (A)...騒音レベルの大きさの単位であり、人間の騒音の大きさに対する感覚に近い周波数補正特性のAを用いて測定されたもの

大阪空港指定区域概略図（現在）



【出典】『大阪国際空港の概況』大阪航空局大阪空港事務所（2003年4月）他

航空旅客数の推移

年度	大阪空港			関西空港			2 空港 合 計
	国内線	国際線	計	国内線	国際線	計	
平成 元年度	17,003,669	5,207,836	22,211,505				22,211,505
平成 2年度	17,977,954	5,249,420	23,227,374				23,227,374
平成 3年度	18,053,982	5,414,714	23,468,696				23,468,696
平成 4年度	18,033,135	5,221,753	23,254,888				23,254,888
平成 5年度	18,268,990	5,343,449	23,612,439				23,612,439
平成 6年度	15,463,121	2,449,626	17,912,747	4,535,867	4,256,374	8,792,241	26,704,988
平成 7年度	12,797,605		12,797,605	7,939,543	9,369,026	17,308,569	30,106,174
平成 8年度	13,188,653		13,188,653	8,294,721	10,940,112	19,234,833	32,423,486
平成 9年度	13,821,751		13,821,751	8,236,190	11,271,950	19,508,140	33,329,891
平成 10年度	15,115,789		15,115,789	7,846,914	11,436,978	19,283,892	34,399,681
平成 11年度	16,244,965		16,244,965	8,190,409	11,825,151	20,015,560	36,260,525
平成 12年度	16,234,900		16,234,900	7,723,494	12,852,773	20,576,267	36,811,167
平成 13年度	17,021,453		17,021,453	7,772,612	10,980,192	18,752,804	35,774,257
平成 14年度	18,060,768		18,060,768	6,479,210	10,441,672	16,920,882	34,981,650
平成 15年度	18,862,551		18,862,551	5,181,053	8,540,681	13,721,734	32,584,285
平成 16年度	19,484,024		19,484,024	4,178,422	11,156,011	15,334,433	34,818,457

平成 6 年 9 月 4 日
関西空港開港

【出典】大阪航空局大阪空港事務所資料

関西国際空港(株)ホームページ(*平成16年度旅客数は速報値)